

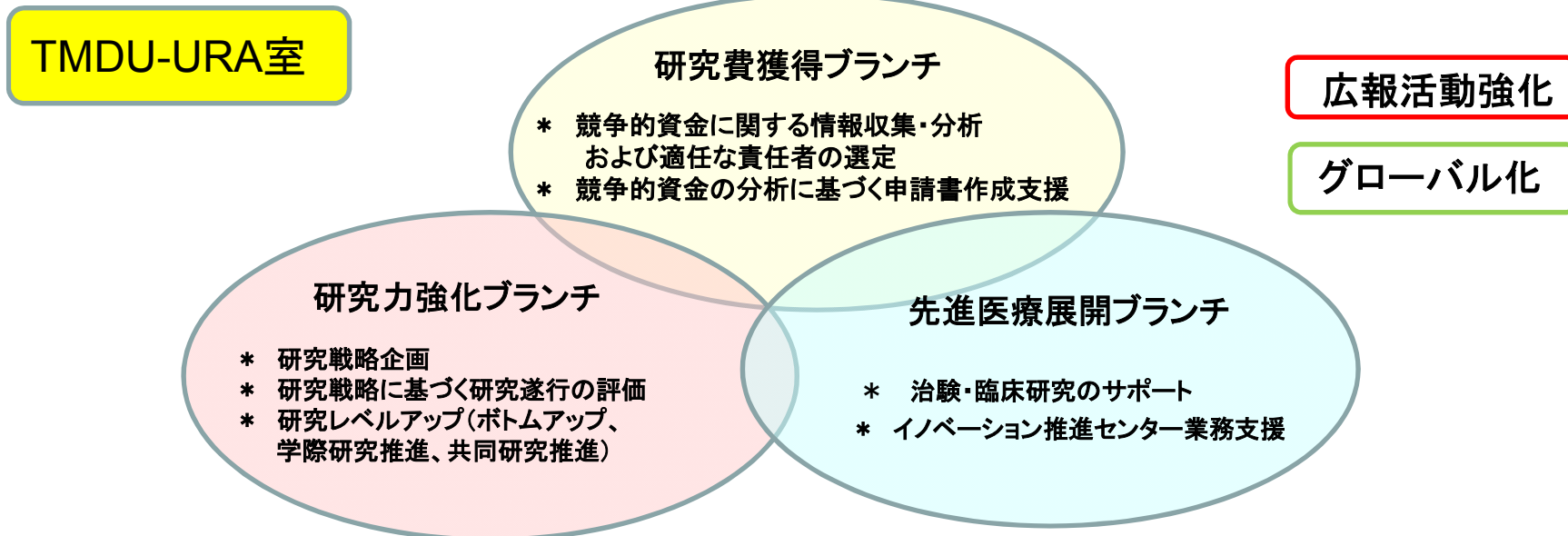
# 文部科学省「研究大学強化促進事業」東京医科歯科大学 ～ライフイノベーション研究拠点形成にむけて～

平成25年度配分予定額：300百万円

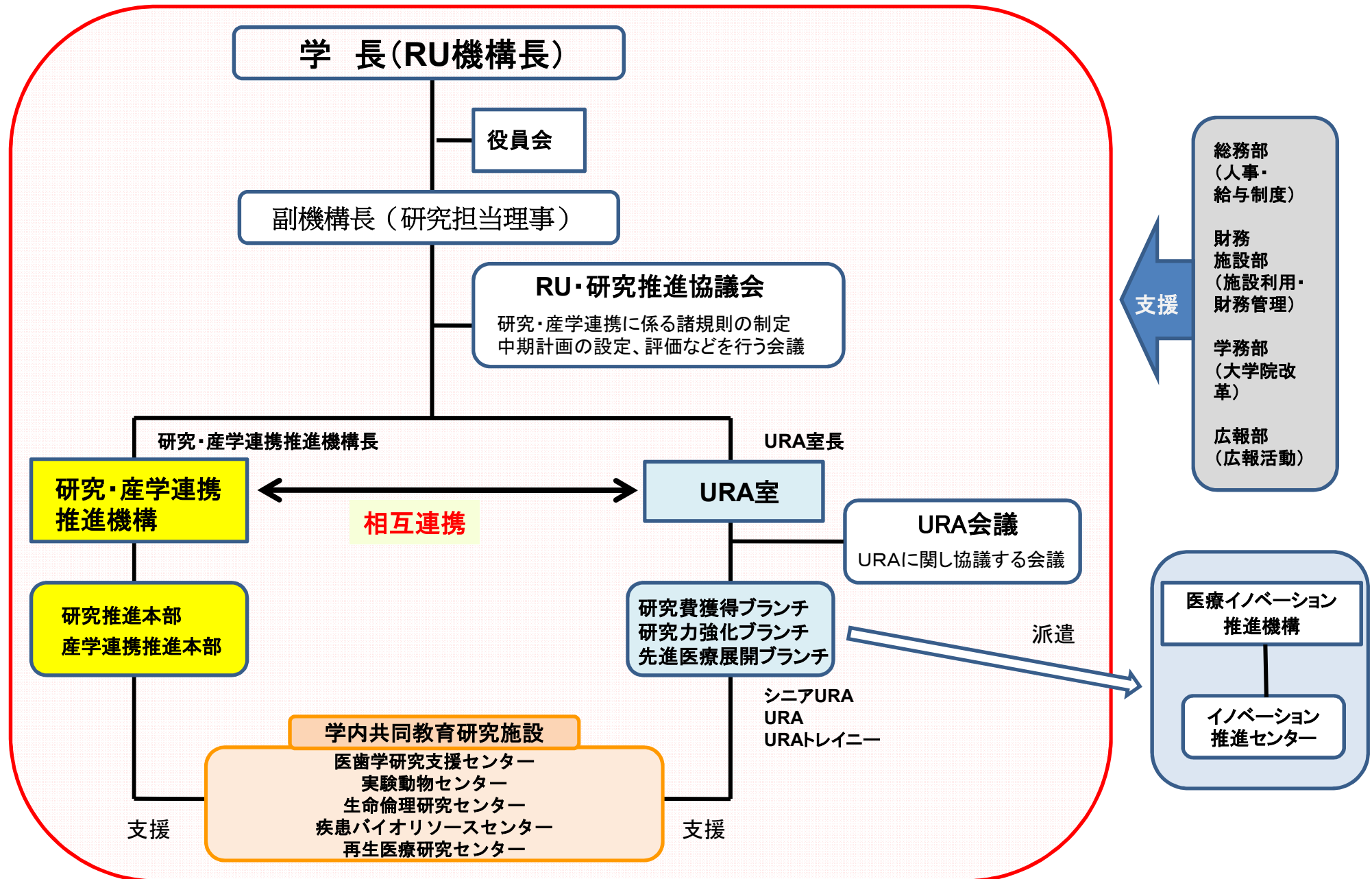
本学にリサーチ・ユニバーシティ推進機構を設置し、競争力のある研究の加速化、先駆的な研究分野の創出、研究環境の整備を国際水準にするなど集中的な研究環境改革を効果的に組み合わせた取組みを実施し、本学の研究力強化を促進させることを目的とする。即ち、医療系総合大学としての研究の最終目標は、優れた研究成果をあげるだけにとどまらず、その研究成果を医療、国民の健康に還元することであり、そのためには、ガバナンスの強化、制度改革、研究環境の改善、産学連携の推進を行う必要がある。そこで、本学にURA室を設置し、ライフイノベーション研究拠点形成を支援する。

## 本事業目標:5C: **Contribute, Compete, Center, Collaborate, Cultivate**

①人類の健康と福祉に貢献するため、切磋琢磨し、国際的に最先端の基礎研究・臨床研究を展開するための研究拠点を形成し、生命科学や疾患に関する新しい知の創造を行う。②患者のQOL向上のため、得られた知に対し産学連携活動を通して、新しい医療技術や治療法の開発などの実用化を推進する。③これらの活動を通して、若手研究者、女性研究者の育成を行う。



# TMDUリサーチユニバシティ(RU)推進機構



# 研究力強化事業内容



5枚の梅の花弁(医学部・歯学部・教養部・生体材料工学研究所・難治疾患研究所の5部局)が、力をあわせて人の命を癒し、輝かせることを象徴します。

## URA室設置

各種ファンド獲得支援  
治験・臨床研究推進  
イノベーション推進センター  
研究戦略企画  
研究戦略に基づく研究遂行の評価  
研究レベルアップ

## 産学連携推進

産学連携評価指標の導入  
COIマネジメントガイドライン策定  
特別大学院制度  
民間企業へのサバティカル制度  
異業種間のオープンイノベーション

## 人材確保

国際公募テニュアトラック制度の定着  
Advanced Research Center  
新規大学院コースの設置  
客観的評価による任期制の  
厳格な運用

広報活動強化  
グローバル化

## ガバナンス強化

学長による研究科長、病院長選考  
RU会議の設置  
URA室長の副学長任命  
年俸制の拡大  
学長裁量による分野新設、センター  
設置、教員増員

## 研究環境整備

大型機器の最適配置による  
効率化・集中化  
ワンストップサービス  
研究支援センター  
子育て期間ワーキングシェア  
による女性研究者支援

## 研究力強化実現

シナジー

先進医療の実現  
グローバル人材育成  
国際研究拠点形成  
個別化医療促進  
ライフイノベーションの創出

世界大学  
ランキング  
トップ100

5枚の梅の花弁(URA, 産学連携、ガバナンス、研究環境、人材の5項目)の改革を同時に行うことにより、研究力強化が実現し、社会に貢献できることを象徴しています。

# 研究力強化の実証

	「強み」の強化	「弱み」の解消
<b>URA室の設置</b>	論文被引用率の1位維持 より多くの外部資金の獲得 科研費採択率の上昇	学際融合思考の導入 先進医療の促進 多忙な教員の職務軽減
<b>海外拠点基盤グローバル化促進</b>	留学生の増加	外国人教員の増加 外国での知名度アップ
<b>イノベーション推進センター</b>	ライセンスフィーの増加 事業化による収入	先進医療の促進 医師主導型治験の増加 外国人教員の増加
<b>ガバナンス強化</b>	学長のリーダーシップの強化	他を圧倒する研究拠点形成 教員のモチベーション増加
<b>人材確保</b>	優秀な若手教員の採用	教員の流動性 外国人教員の増加
<b>研究環境整備</b>	女性教員の増加 テーラーメイド医療の促進	多忙な教員の仕事軽減 優秀な教員の定着
<b>産学連携推進</b>	安全・迅速な産学連携研究 知財収入の増加 コンサルティングフィーの増加	協働企業への就職率増加